

会 議 録

会議名 (審議会等名)		相模原市社会福祉審議会第36回(令和2年度第2回) 高齢者福祉等専門分科会(書面開催)				
事務局 (担当課)		地域包括ケア推進部 地域包括ケア推進課 電話042-769-9222(直通)				
開催日時		令和2年8月28日(金)~9月4日(金)				
開催場所		(書面開催)				
出席者	委員	12人(別紙のとおり)				
	その他					
	事務局					
公開の可否		可	不可	一部不可	傍聴者数	
公開不可・一部不可の場合は、その理由		書面会議のため				
会議次第		<p>1 開 会</p> <p>2 報告事項</p> <p>(1)第8期高齢者保健福祉計画に係る国の基本指針(案)について</p> <p>2 議 題</p> <p>(1)第8期高齢者保健福祉計画について</p> <p>(2)その他</p> <p>3 閉 会</p>				

審 議 経 過

主な内容は次のとおり。(〇 は委員の発言、 △ は事務局の発言)

1 開会

2 報告事項

(1) 第 8 期高齢者保健福祉計画に係る国の基本指針(案)について

3 議題

(1) 第 8 期高齢者保健福祉計画について

ア～ウの議題について、次のとおり意見があった。

質疑・意見等

ア 第 1 章「計画策定の趣旨」について

特になし

イ 第 2 章「高齢者を取り巻く現状と課題」について

- 格差社会における高齢者の格差は拡大している。居住の安定確保は生命維持に直結するものであり、長期的視野に立って考察していただきたい。
- 総合事業（シニアサポート等）がスタートし、要支援 1,2 の方を対象に介護予防、自立支援を目指し、いきいき百歳体操等を実施してきている。その成果の評価はどうか。要支援者の減少、費用対効果など
- 可能であれば、日常生活圏域単位での介護保険サービスの充実割合（目標値があれば尚可）が資料としてほしい。市社会福祉審議会として関連情報を俯瞰的に捉えるのは良いが、計画の核となる重要な情報には、今後の方向性を見出すためにもさらに深掘したデータが必要と考える。
- 取り組んできた高齢者の地域における各種活動への参加推進が、コロナウイルス禍でほとんど機能しない状況となり、残念です。可能な状況になりましたら、さらに推進していくことを望みます。
- 高齢化に対応する各種施策、サービスについても述べられているが、それに必要な費用や財源に関する記述が少ないように思う。

ウ 第 3 章「計画の基本的方向」について

- 高齢化、人口減少社会の中での共生社会の構築に向け、「地域」「支えあい」・・・などの基本理念に立つことが、今こそ求められているのだと思う。
- 「地域包括ケアシステム」の推進等により、障害者福祉等の他分野との連携が必要だと思う。

- 重点取組（２）高齢者を支える基盤の整備において、ICTを活用したサポート体制の構築を追加した方が良い。これからの高齢世帯の急増、ひとり暮らし高齢者、認知症高齢者の増加を考えると、人材を増やすことによる対応は限界がある。ICTの活用等のサポートが必要である。

以上

相模原市社会福祉審議会 高齢者福祉等専門分科会委員出欠席名簿

	氏 名	所 属 等	出欠席
1	相 澤 由 美	相模原人権擁護委員協議会	出席
2	石 川 敦	相模原公共職業安定所	出席
3	石 黒 雄 彦	相模原市老人クラブ連合会	出席
4	牛 尾 良 一	相模原市自治会連合会	出席
5	大久保 祐 次	一般社団法人相模原市高齢者福祉施設協議会	出席
6	大 貫 君 夫	相模原市民生委員児童委員協議会	出席
7	梶 川 義 人	日本虐待防止研究・研修センター	出席
8	佐 藤 聡一郎	一般社団法人相模原市医師会	出席
9	島 森 政 子	特定非営利活動法人 相模原市障害児者福祉団体連絡協議会	出席
10	杉 本 榮 治	特定非営利活動法人相模原ボランティア協会	出席
11	田 中 雄一郎	相模原市歯科医師会	出席
12	戸 塚 英 明	社会福祉法人相模原市社会福祉協議会	出席

(敬称略、50音順)